

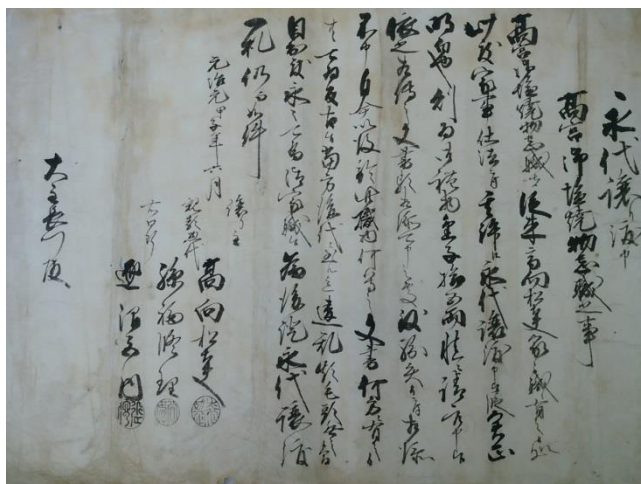
古文書講座（近世文書を読む）開催中です。

皇学館大学研究開発推進センター史料編纂所では、恒例の講座「古文書を読もう！」を開催しています。秋からは〈御師^{おんし}の文書を読む〉と題して、9月10日（土）・10月15日（土）・11月19日（土）と3回の日程で、伊勢を語るうえで避けては通れない「御師」の古文書を読んでいます。

講師は昨年に引き続き、谷戸佑紀先生（皇学館大学研究開発推進センター共同研究員）、史料編纂所が所蔵する「大主家文書^{おおぬしけ}」を題材に、実際の文書を展示しながら、江戸時代のくずし字や独特の言葉について、わかりやすく解説いただきました。今回取り上げたのは元治元年（1864）六月の高宮御塩焼物忌職^{たかみやみさきものいみ}に関する文書、幕末の外宮門前町の状況や御師の生業について、踏み込んだ解説がありました。受講のみなさんにとってもなじみ深い伊勢の町について、歴史の面白さを再発見されたのではないのでしょうか。



講義終了後、谷戸先生と「大主家文書」を前にして



「大主家文書」文書番号6-6(皇学館大学研究開発推進センター史料編纂所所蔵)

なお、11月19日の回では、「大主家文書」より、あらたな文書を取り上げます。途中ではありますが、1回のみ参加も可能ですので、歴史に関心のある初心者から、古文書上級者まで、ぜひご参加ください。

*なお「大主家文書」につきましては、『皇学館大学研究開発推進センター紀要』1（平成27年3月）掲載の論文、千枝大志「大主家文書」について」におきまして、概要の解説と中世文書の写真図版・翻刻を掲載しています。ご関心のある方は、こちらをご覧ください。

〈御師おんしの文書を読む〉第3回

平成28年11月19日（土）13時～14時30分まで

講師：谷戸佑紀先生

定員：60名（申込制・参加費無料）

会場：皇学館大学 佐川記念神道博物館講義室

問い合わせ先

皇学館大学研究開発推進センター事務室

〒516-8555

三重県伊勢市神田久志本町 1704 番地

TEL：0596-22-6466 // FAX：0596-22-6463

E-mail：kenkyu@kogakkan-u.ac.jp